

兼子春治議員

中東遠の中軸都市

問 第二東名の開通を控え、

南北軸道路の整備に取り組むべき。また第二東名からの東の入口としての横軸の整備にも取り組むべき。

答 現在策定中の道路整備計画の中で、交通量調査の結果などを考慮し、必要性を検討していきたい。



建設が進む第二東名（仮称）森掛川I.C.予定地付近

日本一防火のまちづくり

問 秋葉総本殿のある本市として、消防近代化遺産の保存活用等「日本一防火のまちづくり」をまちづくり

として取り組む考えは。

答 歴史的文化資源や、可睡斎などの観光資源を活用し、防火のまちづくりを内外に広くPRしていきたい。

どまん中まちづくり

問 袋井宿開設400年祭に向けての準備をすべきだ。

答 市民パワーの集結を図りながら、どまん中袋井のさらなる情報発信に努めたい。また、土地や建物の利活用は、にぎわい新都心まちづくり計画において、歴史を生かした町並みの再生を検討する中で、地元住民の気運を高め、協力を得ながら計画的に実施したい。

秋田 稔議員

児童養護施設「まきばの家」について

問 市独自の強力なる支援をしたら。

答 本施設は、西部児童相談所管内の市町が平等に利用する施設である。特定の市町が施設運営費の補助を厚くすることは、平等利用の意義が薄れることへの懸念や他市町との協議も要する。まずは原則により、そして、どうしてもという場合は、

本施設は、西部児童相談所管内の市町が平等に利用する施設である。特定の市町が施設運営費の補助を厚くすることは、平等利用の意義が薄れることへの懸念や他市町との協議も要する。まずは原則により、そして、どうしてもという場合は、



建設が進む児童養護施設「まきばの家」

対応策を考えたい。

東同笠江之端線の拡幅整備について

問 計画最終着点、国道150号までの整備計画は。

答 一部区間は、平成20年度に完成する。県道磐田掛川線から当路線を通過し、国道150号へ抜ける車両も急増しており、早期に完了するよう事業を進める。

水田パイプライン施設設置について

問 山崎地域施設整備に今後どのように取り組むか。

答 県が事業主体となり計画中の経営体育成基盤整備事業の事業化に向け、負担等の難しい問題もあるが、地元とよく協議し、調整できるように努力する。

県が事業主体となり計画中の経営体育成基盤整備事業の事業化に向け、負担等の難しい問題もあるが、地元とよく協議し、調整できるように努力する。